

Minamata

Conference of Plenipotentiaries
on the Minamata Convention
on Mercury



I 外交会議 概要

開催までの経緯

国連環境計画(UNEP)では、2001年から地球規模の水銀汚染防止に係る活動を進めてきたが、2009年のUNEP管理理事会において、政府間交渉委員会(The Intergovernmental Negotiating Committee=INC)を設置して、2013年までに水銀によるリスク軽減のための法的拘束力のある文書(条約)を制定することを合意した。

2010(平成22)年5月に水俣市で開催された水俣病犠牲者慰霊式において、鳩山総理大臣(当時)が水銀条約の採択と署名の会議を我が国に招致し、「水俣条約」と名付けること目指すと表明した。

これを受け、蒲島郁夫熊本県知事は、この外交会議を水俣を含む熊本県に招致することを目指すと表明。また、水俣市議会は同年6月議会において、外交会議を水俣市で開催するよう国や熊本県に求める意見書を全会一致で可決した。

その後、同年6月にストックホルムで開催された政府間交渉委員会第1回会合(INC1)において、日本政府は正式に外交会議の日本開催と「水俣条約」命名について交渉参加国に提案した。

2011(平成23)年1月には千葉県でINC2が開催され、蒲島知事と宮本勝彬水俣市長が会議の招致のためのスピーチを行った。この会議において、2013(平成25)年に予定されている条約の採択・署名のための外交会議を、日本で開催することが決定された。

2012(平成24)年8月末に環境省から、外交会議を熊本市と水俣市で開催する方向でUNEPと調整していることが発表された。これを受け、同年11月8日に地元推進組織として「水銀条約外交会議熊本県推進協議会」を設立し、併せて協議会の下部組織として「熊本部会」「水俣・芦北部会」を設置した。なお、「水俣条約」の命名については、同年12月に水俣市議会で反対決議がなされるなど、地元で賛成、反対双方の様々なご意見があった。

2013(平成25)年1月にスイスのジュネーブで開催されたINC5において、外交会議を同年10月に熊本市及び水俣市で開催すること、及び条約名称を「水銀に関する水俣条約」とすることが決定された。なお、INC5期間中には、会場内に設けられた本県ブースで参加者に熊本及び水俣の情報を発信するとともに、閉会式において、外交会議開催地の地元代表として蒲島知事が映像で歓迎のメッセージを伝えた。



INC2での知事挨拶(於:千葉市)



INC5での知事ビデオメッセージ(於:ジュネーブ)

2 外交会議の概要

2013年(平成25)年10月7日(月)から11日(金)の日程で、熊本市及び水俣市において60ヶ国以上の閣僚級を含む140ヶ国・地域の政府、国際機関、NGO等の関係者1,000人以上が出席する「水銀に関する水俣条約」の外交会議及びその準備会合が開催された。

(主催:UNEP ホスト:日本政府)

外交会議では、石原伸晃環境大臣が議長を務め、水銀に関する水俣条約及び外交会議の最終議定書が全会一致で採択され、92ヶ国(EUを含む。)が条約への署名を行い、日本からは岸田文雄外務大臣が同条約及び外交会議の最終議定書への署名を行った。熊本県では、地元の推進組織として設置した「水銀条約外交会議熊本県推進協議会」を中心に、会議の円滑な運営支援や参加者へのおもてなし、水俣病等に関する情報発信等の役割を担い、熊本の認知度の向上に加え、公害の原点とも言われる水俣病のような悲劇を二度と起こしてはならないという教訓の発信等に最大限努めた。さらに、開会記念式典において蒲島知事から、水銀を使用しない社会の実現に向けて努力していく「水銀フリー熊本宣言」(P121 蒲島熊本県知事挨拶参照)を行った。

水銀に関する水俣条約

水銀が健康及び環境に及ぼすリスクを低減するため、水銀のライフサイクル全般にわたる包括的な規制を定めたもの。2010年から5回にわたる政府間交渉(INC)を経て2013年1月に合意された。具体的には、水銀の輸出入や水銀使用製品製造の原則禁止、大気等への水銀排出削減、水銀廃棄物等の適切な保管等を規定している。今後、50ヶ国以上の条約批准を経て条約が発効する。

(1) 会合の概要

- ① 10月7日(月)、8日(火)に行われた準備会合(於:ホテル日航熊本)では、条約の採択後発効までの間の暫定期間における政府間交渉委員会や大気排出に関する技術専門家会合の設置、暫定事務局、資金に関する取決め等について議論を行い、決議案が合意された。



- ② 10月9日(水)は、水俣市の文化会館において開会記念式典が開催された。

冒頭、安倍晋三内閣総理大臣が、ビデオメッセージで水銀被害の撲滅を訴え、開発途上国の環境汚染対策のため、日本政府として今後3年間で総額20億ドルの支援を行うと表明し、UNEPのアキム・シュタイナー事務局長の挨拶を経て、石原環境大臣が条約の早期発効に向けた開発途

上国支援や、水俣から水銀技術や環境再生を世界に向けて発信する「MOYAIイニシアティブ」を表明した。また、蒲島知事が水俣病の歴史と行政としての教訓と水銀フリー社会の実現に向けた「水銀フリー熊本宣言」を表明、最後に水俣市長が、水俣病を経験し環境問題に取り組む市民の思いと、水俣条約の水銀汚染防止に果たす役割への強い期待を表明した。

続いて、水俣病資料館語り部の会の緒方正実会長が講演を行い、今なお終わらない水俣病の被害や実状、また被害に向き合ってきた患者としての思いを訴え、条約への期待を寄せた。なお、それに先立ち、世界各国からの参加者がエコパーク水俣親水緑地にある「水俣病慰霊の碑」への献花や記念植樹、水俣病資料館の語り部による講話の聴講のほか、水俣病関連団体・施設の視察等を行った。



安倍内閣総理大臣 ※ビデオメッセージ(水俣市文化会館)



石原環境大臣(水俣市文化会館)



水俣病慰霊の碑に花を捧げる各国参加者(エコパーク水俣)



各国閣僚等による植樹(エコパーク水俣)

- ③ 10月10日(木)、条約及び外交会議の最終議定書が全会一致で採択された。同日午後署名式が行われ、翌11日までに92か国(含むEU)による条約への署名がなされた(なお、本条約は50か国の批准後90日で発効となる)。日本からは、岸田外務大臣が条約及び外交会議の最終議定書への署名を行った。続いて、ホスト国を代表して、岸田外務大臣から、安倍総理大臣が表明した日本の支援策として、大気汚染、水質汚濁、廃棄物処理の3分野で、開発途上国の環境汚染対策のため今後3年間で総額20億ドルのODAによる支援を実施するとともに水銀汚染防止に特化した人材育成支援を新たに実施することを表明し、水銀汚染のない世界の実現に向けた強い決意を示した。

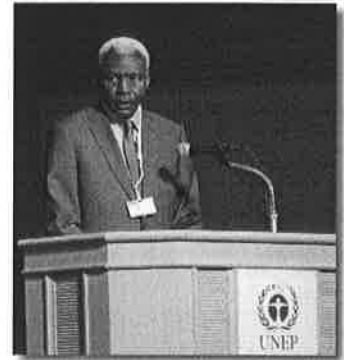


署名を行う岸田外務大臣(ホテル日航熊本)



支援策を表明する岸田外務大臣(ホテル日航熊本)

- ④ 10日(木)及び11日(金)には、各国閣僚級によるステートメントが行われ、ホスト国及び地元のあたたかいおもてなしへの謝辞や、本条約の採択への祝意とあわせて条約の重要性、早期発効の必要性が言及された。



- ⑤ 外交会議の機会を利用し、岸田外務大臣がザンビア、ウルグアイと、石原環境大臣がシンガポール、ブラジル及びメキシコと、それぞれ二国間会談を行った。また、蒲島知事は、岸田外務大臣、地球環境ファシリティ(※)の石井菜穂子事務局長(CEO)、ペルー大使及びフランス大使との個別会談を行った。

※地球環境ファシリティ(GEF)・・・世界銀行に設置された、開発途上国等が環境対策に取り組む際の資金援助を行う信託基金。



GEFの石井事務局長(右)と
蒲島知事・くまモン



ペルーのエスカラ大使(左)と蒲島知事

(2) 熊本県内での取組み内容

① 会議の円滑な運営支援

140ヶ国1,000人以上の参加者に対する宿泊予約支援、輸送支援に加え、必要な警備、交通規制を実施し、円滑な運営と安全を確保することができた。



電車通り(通町筋)での交通整理



宿泊ホテルから主会場への輸送

② 水俣病及び環境関連の情報発信

水俣病の被害を受けた方々や、再生に向けた取組みが続けられている水俣の姿を実際に会議参加者に見ていただくため、水俣訪問プログラムを企画した。開会記念式典を含むこのプログラムには約120ヶ国600人が参加し、慰霊碑への献花や記念植樹のほか、水俣病語り部による講話も行った。

また、水俣病に関して様々な意見やとらえ方があることを率直に世界に伝えるため、水俣病関連団体がブース展示や講演等の情報発信ができるよう、エコパーク水俣及び外交会議主会場(ホテル日航熊本)等に発信場所を確保した。

併せて、外交会議主会場では県、水俣市によるパネル展示も行った。



水俣病関連団体ブース展示(熊本県環境センター)



水俣病関連団体による「伝えるプログラム」(ホテル日航)

③ 会議参加者へのおもてなし

エコパーク水俣における市民との交流のほか、水俣市もやい館や熊本城奉行丸における歓迎レセプションを開催した。また、ボランティアの方々による空港や駅で出迎えや、道案内等、おもてなしの心での多くの県民の方々による手づくりの歓迎を行った。これらの歓迎には、熊本市、水俣市の子ども達や語学ボランティア等、延べ約2,400人に参加していただいた。



福岡空港でバス乗車案内するボランティア



水俣のレセプション会場で手づくり土産をプレゼント



外交会議全体スケジュール

日付	9:00	13:00	15:00	18:00
10/7 (Mon) 準備会合-1 Preparatory Meeting Day-1 @ 熊本/Kumamoto	Exhibitions 展示 (5F+2F) 9:00 13:00 14:30 15:00 18:00 Regional Meetings 地域会合 Side Events サイドイベント 「UNEP Chemicals」 (5F阿藤D) Side Events サイドイベント 「UNIDO」 (天草C) Side Events サイドイベント 「ZMWG」 (肥後CD) Preparatory Meeting Plenary 準備会合 (5F阿藤ABC)			
10/8 (Tue) 準備会合-2 Preparatory Meeting Day-2 @ 熊本/Kumamoto	Exhibitions 展示 (5F+2F) 8:00 9:00 10:00 13:00 14:30 15:00 18:00 Bureau Meeting ビュロー Regional Meetings 地域会合 Preparatory Meeting 準備会合 (5F阿藤ABC) Side Events サイドイベント 「CACF/IPEN」 (5F阿藤D) Side Events サイドイベント 「Blacksmith Institute / GAHP」 (天草C) Side Events サイドイベント 「The Italian National Reference Centre for Mercury」 (肥後CD) Preparatory Meeting 準備会合 (5F阿藤ABC) スイス主催 レセプション (天草ABC)			
10/9 (Wed) 水俣訪問プログラム 外交会議 (開会記念式典) Minamata Visit (Ceremonial Opening) @ 水俣/Minamata	9:00 13:00 16:00 17:00 18:15 18:30 19:30 熊本市内待合ホタル 水俣市待合ホタル 水俣市待合ホタル 水俣市待合ホタル 熊本駅 新水俣駅 新幹線 貸切バス クルーズ1 クルーズ2 クルーズ3 熊本駅 新水俣駅 貸切バス Tour 視察 (エコパーク) ・水俣製錬所跡での献花 ・船場 (VIPのみ) ・ランチ ・3館視察 (同時イベント: 語り加賀話) 貸切バス Ceremonial Opening セレモニアル オープニング (水俣市文化会館) 徒歩 Reception レセプション (水俣市趾舎 もやい面談センター) 貸切バス 熊本市内待合ホタル			
10/10 (Thu) 外交会議-1 Diplomatic Conference Day-1 @ 熊本/Kumamoto	Exhibitions 展示 (5F+2F) Exhibitions 展示 (天草C) 8:30 9:30 13:00 14:30 15:00 18:00 16:45 20:30 Regional Meetings 地域会合 Bureau Meeting ビュロー 9:30-10:30 Opening 開会式 Diplomatic Conference 外交会議 (阿藤ABCD) Side Events サイドイベント 「GEF」 (天草A) Side Events サイドイベント 「WECF/IPEN」 (肥後AB) 14:30-14:55 Bureau (種+種) Diplomatic Conference 外交会議 (阿藤ABCD) 移動 Reception レセプション (熊本城)			
10/11 (Fri) 外交会議-2 Diplomatic Conference Day-2 @ 熊本/Kumamoto	Exhibitions 展示 (5F+2F) Exhibitions 展示 (天草C) 9:00 10:00 13:00 14:30 15:00 18:00 Side Events 水俣不知火志者会 (肥後CD) Side Events 「Human Rights Watch」 (肥後AB) Regional Meetings 地域会合 Diplomatic Conference 外交会議 (阿藤ABCD) Side Events サイドイベント 「Swedish Ministerial」 (肥後AB) Side Events サイドイベント 「WHO Ministe」 (天草A) Side Events サイドイベント 「社会福祉法人きかえの社」 (肥後CD) Diplomatic Conference 外交会議 (阿藤ABCD)			

水銀に関する水俣条約外交会議参加国等

主催：国連環境計画 (UNEP)

1. 外交団派遣国・地域 (英語表記アルファベット順)

1	アフガニスタン	33	デンマーク	65	リベリア	97	ルーマニア
2	アルバニア	34	ジブチ	66	リビア	98	ロシア
3	アンゴラ	35	ドミニカ共和国	67	リトアニア	99	サモア
4	アルゼンチン	36	エクアドル	68	ルクセンブルグ	100	セネガル
5	アルメニア	37	エジプト	69	マダガスカル	101	セーシェル
6	オーストラリア	38	エチオピア	70	マラウイ	102	シエラレオネ
7	オーストリア	39	欧州連合	71	マレーシア	103	シンガポール
8	アゼルバイジャン	40	フィンランド	72	マリ	104	スロバキア
9	バーレーン	41	フランス	73	モーリタニア	105	スロベニア
10	バングラディッシュ	42	ガボン	74	モーリシャス	106	南アフリカ
11	ベルギー	43	ガンビア	75	メキシコ	107	南スーダン
12	ベリーズ	44	グルジア	76	モンゴル	108	スペイン
13	ベナン	45	ドイツ	77	モロッコ	109	スリランカ
14	ボリビア	46	ギリシャ	78	モザンビーク	110	パレスチナ
15	ボツワナ	47	グアテマラ	79	ミャンマー	111	スリナム
16	ブラジル	48	ギニア	80	ナミビア	112	スウェーデン
17	ブルガリア	49	ガイアナ	81	ネパール	113	スイス
18	ブルキナファソ	50	ハンガリー	82	オランダ	114	タイ
19	カンボジア	51	インドネシア	83	ニュージーランド	115	マケドニア
20	カメルーン	52	イラン	84	ニカラグア	116	トーゴ
21	カナダ	53	イラク	85	ニジェール	117	チュニジア
22	中央アフリカ	54	アイルランド	86	ナイジェリア	118	ウガンダ
23	チリ	55	イスラエル	87	ノルウェー	119	アラブ首長国連邦
24	中国	56	イタリア	88	オマーン	120	イギリス
25	コロンビア	57	ジャマイカ	89	パキスタン	121	タンザニア
26	コモロ連合	58	日本	90	パナマ	122	ウルグアイ
27	コンゴ	59	ヨルダン	91	パラグアイ	123	ウズベキスタン
28	クック諸島	60	ケニア	92	ペルー	124	ベネズエラ
29	コスタリカ	61	キリバス	93	フィリピン	125	ベトナム
30	コートジボアール	62	クウェート	94	ポーランド	126	イエメン
31	キューバ	63	レバノン	95	韓国	127	ザンビア
32	チェコ	64	レソト	96	モルドバ	128	ジンバブエ



2.オブザーバーとして参加した国

1	アルジェリア	4	クロアチア	7	ガーナ	10	サウジアラビア
2	ブルネイ・ダルサラーム	5	コンゴ民主共和国	8	ホンジュラス	11	スワジランド
3	ブルンジ	6	ドミニカ国	9	カタール	12	タジキスタン

※アメリカ合衆国は準備会合のみ参加

3. その他

●国連機関等

地球環境ファシリティ (GEF)
国際労働機関 (ILO)
国連工業開発機関 (UNIDO)
国連訓練調査研究所 (UNITAR)
世界保健機関 (WHO)

●IGO (政府間組織)

アフリカ開発銀行
アジア開発銀行
米州開発銀行
国際獣疫事務所 (OIE)

●国際条約事務局

有害廃棄物の国境を越える移動及びその処分の規制に関するバーゼル条約事務局
国際貿易の対象となる特定の有害な化学物質及び駆除剤についての事前のかつ情報に基づく同意の手続きに関するロッテルダム条約事務局
残留性有機汚染廃棄物に関するストックホルム条約事務局

その他、世界各地から50のNGO (非政府組織) が参加。

UNEP ホームページ (URL: <http://www.unep.org/>)

「Final Act of the Conference of Plenipotentiaries on the Minamata Convention on Mercury」より抜粋

